

令和3年2月26日

足立区立六月中学校
校長 塚原 洋殿

足立区立六月中学校
学校運営協議会
開かれた学校づくり協議会
会長 芦川一男

令和2年度 学校関係者評価書

1、はじめに

今年度は新型コロナウイルスの流行により長期の臨時休校を余儀なくされ、運動会・文化祭・修学旅行などの諸行事や部活動が中止となる1年間であった。

その中で生徒はよくそれに耐えて感染症に負けないで1年間を乗り切ってくれた。また先生方のさまざまなご努力もあり保護者も生徒の健康に配慮をするなど関係者の全員が一つの目標のために結集したといえる。この経験は大変貴重なものであり本校のレガシーとして生かされることを期待したい。

はじめにこのことを特記しておきたいと思う。

2、重点取り組み事項 1) 学力向上

①「足立区基礎学力定着調査」の本校生徒の正答率は目標 63.0%に対し 56.7%と-6.3 低い結果であった。その原因を調べると1年生では英語が、2年生では数学が3教科の中で数字が30ポイントほど低かったのが主な原因である。

②生徒の授業理解度アンケートは80%と高く、教員に対する指導専門員の指導・助言や授業ビデオ撮影の実施、教員が自分で教材を作成したものを使うなど授業力の向上の成果が表れてきている

③家庭学習ノート提出率は8割が提出し定着してきている傾向にあったが、今年はコロナの影響によるのか25%ときわめて提出率が下がってしまった。ただしアンケートでは家庭学習の習慣化が90%と高く出ておりコロナ化で宿題はきちんと提出したことが伺える。

④放課後の補習学習を25分間×週4回行い、Eライブラリーを活用するなど工夫した。学力中間層以下の生徒のアンケート結果も80%が肯定的に回答し効果が上がったものと評価したい。

3、重点取り組み事項 2) 不登校・不適応対応

- ①年に2回実施のQU調査で学校生活満足群が57%と全国平均と比べても高く、また学校評価アンケート「先生は悩みや心配に耳を傾けてくれる」については生徒・保護者共に88%が肯定的意見であったことは評価できる。
- ②「いじめのない生活」について生徒・保護者共に90%台で肯定的回答であった。いじめ防止対策強化運動が定着しつつあると評価したい。
- ③今年度も不登校生徒の出現率は2%台前半と安定してきているのは、修学支援委員会による組織対応を毎週木曜、年40回実施し、SC、SSW、民生委員との連携を円滑に進めている努力の結果である。不適応対応の生徒についても修学支援委員会で取り組んでいる。一人一人のケースを検討し、家庭訪問を行うなど個別の対応を行っている。

4、重点取り組み事項 3) 教師の指導力の向上

- ① コロナ禍のなかでも各種の研修に参加し、また授業観察・面接を一人につき3回全教員に実施することが出来たことは教師の資質・能力の向上に役に立った。
- ②足立区の授業のスタンダードに合わせた授業の実践に努力した。授業の初めにねらいを生徒に提示、終わりには振り返りを徹底した。それにより授業の内容が理解できたとする肯定的評価が高い結果として現れたことは評価できる。

5、学校から地域への情報発信

昨年から大幅に写真が多くなり読みやすくなったホームページは学校の生活の様子が分かり大変便利である。学校生活の情報発信が一段と進んだことを評価したい。「地域の中の開かれた六月中学校」を保護者だけでなく地域の方々にも理解しやすくなった。

新型コロナウイルスの感染拡大により今年の3校連携事業はコロナの影響が学校生活にどのような影響をもたらしたかについて取り組んだ。事業は第3波のさなかのためイベントは中止になったが、コロナ対策の重要性を認識し三校からの感想要望を取りまとめて教育委員会に提出することができたことを評価したい。

以上